



## テレビ大阪「やさしいニュース」でシロクマが紹介されました！ こだわりから生まれた究極のスピーカー



実際のニュース映像はこちらから  
ご覧いただけます。



これ(スピーカー)が付いた時に感激した  
そのまゝの音が出る



門前啓子発声教育研究所  
お問合せ先: 学園前教室(奈良市)  
TEL.0742-51-7748

2022年8月22日、テレビ大阪の夕方の報道番組「やさしいニュース」で(株)シロクマのスピーカー開発の話題が約6分間にわたって紹介されました。「プロも絶賛！理想の音を響かせる…社長のこだわりから生まれた究極のスピーカー」という題目で、まず声楽家の門前啓子先生が登場します。多くのヴォイストレーナーを育ててきた門前先生は、弊社ライセンススピーカー第一弾の「midTower」を「普段の舞台上で歌っている響きをスピーカーで表現するのがすごい。これで響きの臨場感みたいなものが出た」と高く評価しています。続いて、建築金物・家具金物メーカーの弊社がなぜ畑違いのスピーカー開発に取り組んだのかということから、開発当時の再現イメージ、開発を下支えした金属加工の現場までが紹介されます。

高校時代からオーディオファンであった弊社社長が、2009年にタイムドメイン社のパイプ型のスピーカーに出合って、空間の中から湧いて出てくるような音の広がり目からウロコとなったのが始まり。同社フラッグシップモデルの「Yoshii9」は高さ90cmで約30万円ですが、タイムドメイン理論のスピーカーをコンパクトで手頃な価格でライセンス生産することになった当初の苦労話が紹介されます。

金属加工が本業のメーカーということで、レーザー加工機や長尺加工機などを駆使した自社工場での日常的な製造風景も登場。2011年に「midTower」を発売し、さらなる小型化を目指して、高性能の3Dプリンターで試作、修正を重ねて音づくりを行います。そして、吸音材に編み物を使うことになり、最新鋭の編機を導入するなど、理想の音を追求するために投資を惜しまず、2015年発売の「myPod8」で当初の1/15の価格を実現します。

「仕事と考えるのではなく、最後まで時間も寝食も忘れて、一生懸命考えてお金もつぎ込めば、成功の結果が待っている」と弊社社長。番組では「一見道楽にも見えたスピーカーづくりが、実は思わぬアイデアを生んだり、新たな人脈を築き、シロクマのモノづくりを発展させた」と結んでいます。

## 日経新聞でもシロクマの先端のモノづくりを記事紹介

テレビ放映と同日の日経新聞夕刊(関西版)および日経電子版でも「現場探求」という特集記事で、スピーカーを中心とした弊社のモノづくりが紹介されました。

「究極の音へ 試作1万回」として、6種類のスピーカーを開発した経緯がまとめられています。実際に試聴した記者は「石川さゆりの『天城越え』を聞くと、音色の変化にすごみを感じた」と実感を伝えています。

また、京都大学が開発した「トポロジー最適化ソフト」を利用し、大阪産業技術研究所と共同でレバーハンドルの軽量化に取り組んだことも記事掲載されました。